

# やまぬ事故 不安現実に

## 米軍オスプレイ墜落

これまで国内外で事故、トラブルを繰り返し起こしてきた米軍の輸送機オスプレイが29日、鹿児島県の屋久島沖に落下、大破したとみられる。陸上自衛隊が南西地域防衛の一環としてV22オスプレイを導入し、米軍と訓練範囲を急拡大させる中での大事故。「全面的に飛行停止になる可能性がある」。疑問視されてきた機体の安全性が取り沙汰される事態に、ある自衛隊幹部は日米の部隊運用への影響を指摘する。=●面参照

2016年12月、沖縄県名護市沿岸部に、米軍の輸送機MV22オスプレイの無残な姿があった。普天間飛行場(宮崎県宜野湾市)所属の1機が不時着。プロペラは壊れ、胴体部も住宅敷地内に水筒を落とした。いざなはバラバラになると大破し、搭乗員が負傷した。

沖縄県では21年3月にMV22が重さ約1・8tのパネルを、同11月に佐賀県の佐賀駐屯地(仮称)で、V22を沖縄・石垣島に2度飛来も住宅敷地内に水筒を落とした。いずれも人や建物に被害はなかった。

年8月、クラッシュの不具合による事故が相次いでいるとして全機を一時飛行停止に。陸自も米軍の事故調査などを受け、昨年と今年、V22の飛行を一時見合わせた経緯がある。



## 南西地域防衛 部隊運用に影響懸念

### 首相「米軍に確認要請」

政府は29日、米軍に所属する輸送機オスプレイが鹿児島・屋久島沖で墜落したとの情報を受け、搭乗員の救助に全力を尽しつつ、関連情報の収集を怠らなかった。岸田文雄首相は記者団に「米軍に対して、事故の状況に関する事実関係の確認を求めていた」と語った。

木原稔防衛相は①海上保安庁と連携し救助対応に全力を挙げた②情報収集を徹底し状況の把握に努める③関係機関との連携に万全を期す「の3点を自衛隊に指示した。

松野博一官房長官は記者会見で「被害状況の確認を行ふとともに、人命救助に最優先で当たる」と語った。米軍にオスプレイの飛行停止を求めるかといかを問われ、「現状を確認中だ」と述べたと述べた。

### ■ 海外でも

が、一步間違えば人命にも觸わりかねないケースだった。

定配備しており、建設中の佐賀空港隣接の佐賀駐屯地(仮称)に移駐する計画だ。

海外でも事故や不具合が相次ぐ。

昨年3月にブルウェーで、同6月に

も米カリフォルニア州でMV22が墜落。今年8月にはオーストラリア北

部で同型機が墜落し、3人が死亡し

た。今回の事故と同型のCV22は昨

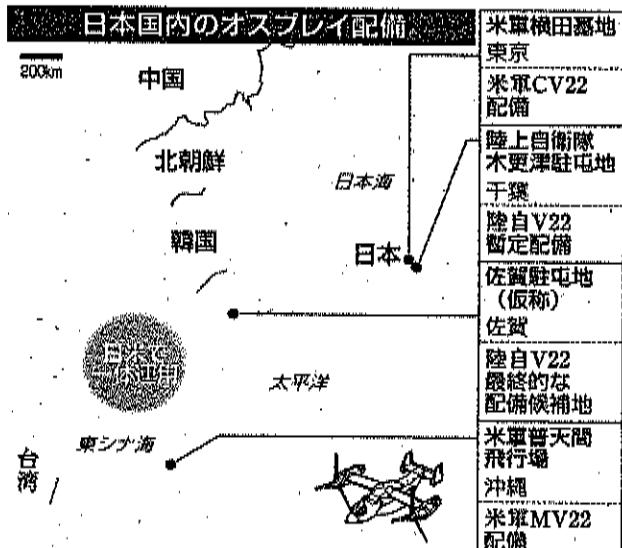
年8月、クラッシュの不具合による事

故が相次いでいるとして全機を一時

飛行停止に。陸自も米軍の事故調査

などを受け、昨年と今年、V22の飛

行を一時見合わせた経緯がある。



米軍のCV22オスプレイが墜落したとみられる現場海域周辺を捜索する海上保安庁の船艇。29日午後6時23分、鹿児島県・屋久島沖で